



香港と日本の教育制度比較

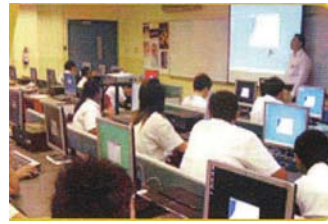
香港は世界の競争力ランキングで常に上位を占めている。スイスのIMDの2010年



中華人民共和国香港特別行政政府HPより

度の世界競争力ランキングで香港はシンガポールについて2位であった。日本は27位であった。世界金融ランキングでは香港はロンドン、ニューヨークについて3位であった。日本は5位であった。このような世界都市比較で常に上位に位置する香港の教育制度に注目して本レポートをまとめた。

香港の教育制度は2009年度までは小学校が6年、中学校が7年、大学が3年となっている。学校選びにおいて、公立学校は教育局が成績、希望、住居などを考慮して指定する。私立学校は面接や入試によって入学が決まる。義務教育は小学校6年と中学前期課程3年の合計9年、その後、中学後期課程が2年あり、その最終学年(中学5年)になるとCEという共通試験を受け、その成績によって大学予科(中学6年)に進学可能かどうか分かる。この予科は大学に進学するためのもので、予科2年目(中学7年)になるとA-Levelという共通試験を受けることになる。このA-Levelという試験結果でJUPASという大学振り分けシステムにて希望大学が決定する。ただし、大学や学部によっては面接や適応テストがある。以上が香港の大学入学以前の教育であるが、香港の大学は3年制である。香港の大学生は日本のように学生生活のみを謳歌するのではなく、就職には社会経験が必要であるため、入学年次からインターンなどを活用して、勉学と社会経験を両立させていく。



シンガポール教育省HPより

2009年度から実施されている新制度は日本に近づき、小学校6年、中学校3年、高校3年、大学4年となる。この制度での大学入試は中国語、英語、数学、一般教養の

4科目と選択科目で実施される。ただし、基本的に文系であっても理系であっても数学は必須となる。ちなみに、シンガポールの教育制度は小学校6年、中学校4年、高校2年となっている。それぞれの最終学年で統一試験を受けて、その成績でどの学校に行けるかが決まる。中学では7科目は必修で、高校では4科目となり内容が濃くなる。以上、日本やシンガポールと比較しながら香港の教育制度を述べてきたが、次に総括として、上記のような教育制度が社会発展にどのように影響を与えているかを述べる。

日本が経済発展をしていた時期は、大学入試までは暗記第一主義での教育であった。また、科目も3科目という大学は私立文系にしかなかった感じがする。シンガポールでも内容の濃い高校課程ですら4科目必修である。香港には基本的には大学個別の入学試験がないが、統一試験があり、日本のように教科数を甘くはしていない。つまり、過去の日本の教育制度、現在のシンガポールや香港の教育制度の中でよい成績を収めるには、ある程度の忍耐力と集中力と工夫力が要求される。これに大学入試で培った記憶力を加味すれば、大学卒業後には国力をあげる力になるであろう。

東京大学大学院工学系研究科
兼 東京大学大学院医学系研究科
矢形 朋由

目次

2010年12月 発行

香港と日本の教育制度比較	1
インターネットを使って香港のラジオを聴こう!	2
香港の食を豊かにしているもの/ 妙な中華料理	3
座談会: ~香港生まれ・香港育ちの日本人が語る香港観~	4~5
香港貿易発展局からのお知らせ	6~7
全国連合会・各地協会便り	
連合会: 全国連合会からのお知らせ	7
東京: 第22回世界文化賞授賞式 AY0が若手芸術家奨励団体に選定	8
関西: 「香港のまちづくり」に学ぶ「大阪のまちづくり」 ~文化庁主催の「大阪のまちづくり」を考えるセミナー~	8
中京: 中京日本香港協会 近況報告	9

九州: 夕食会を開催しました/上海万博「孫文と梅屋庄吉展」オープニングセレモニー出席 事務局が移転しました	10
山形: 山形における有機ELの現状と将来性について	11
北海道: ~香港貿易発展局 主催~ 「香港フードエキスポ 2010 (Food Expo 美食博覧)」に参加しました	12
宮城: 食産業ビジネスセミナーを開催しました/広東語教室で中間懇談会を開催しました 女性部会主催によるライブコンサート及び料理教室を開催しました	13
沖縄: 沖縄日本香港協会 通常総会・懇親会 開催/香港フォーラムへの参加 沖縄日本香港協会 春節セミナー・春節パーティーの開催	14
広島: 広島日本香港協会設立/ 香港・中国ビジネスフォーラム (環境、デザイン・プロダクツ編) 開催	15
コンラッドホテルからのお知らせ	16

インターネットを使って香港のラジオを聴こう！

ライター 沼田 牧子

日本にいながら香港の空気を味わいたい！香港の最新情報をキャッチしたい！そんなときに役に立つのが、インターネットです。近年WindowsやMacでも、中国語が標準装備されているので、昔のように、中文Big5などの中国語フォントをインストールすることなく手間もかからず、中国語の検索やページ表示が簡単になりました。最新のものであれば、Yahoo!香港(雅虎香港<http://hk.yahoo.com/>)でも日本語の漢字を使っての検索が一部可能になりました。

中国語サイトを見るための環境が整った今、お勧めしたいのが、香港のラジオをインターネットで楽しむということです。香港でタクシーに乗ると大概ラジオを聴いていますよね。お家でその雰囲気はひたれてしまいます！また、日本在住の広東語学習者にとって、一番のネックが広東語を聞く機会が少ないということではないでしょうか。週に1回の教室やサークルでは、学力を向上させるどころか維持する事も努力が必要です。そこで毎日少しずつでも聞く力を付けるための手段としてラジオはいかがでしょう。番組によっては、DJが早口で喋ったり、俗語が多く聞き取れないことも多くハードルが高いものもありますが、中には非常に効果が高いものもあります。

たとえば天気予報。天気予報は、ゆっくり、はっきりとした広東語を話していますし、出てくる単語がほぼ決まっていますから、今日のどの地方はどんな天気かだけを聞き取るというのも訓練のひとつになることは間違いありません。

番組中のコマーシャルも比較的ゆっくりはっきりと話してくれるので、比較的聞き取りやすいとします。

ただ流しているだけでも、聞き取れる単語、聞き取れる文章などあり、そんな発見もまた楽しいものです。

もちろん勉強のために聞くばかりではなく、お手軽に香港の雰囲気を味わうこともできるし、最新の香港POPSをキャッチすることも可能です。ラジオ局によって力を注いでいるアーティストが違うので、そんな違いを発見することも楽しいでしょう。

現在香港にラジオ局は大きく分け、香港政府の公共放送である香港電台(RTHK)、民間では商業電台(Commercial Radio)と新城廣播電台(Metro Broadcast)の2局があります。今回ご紹介するのは、通称「叱咤903」と呼ばれる商業電台第二台です。このラジオ局は、長年幅広い世代から支持されていて、軟硬天使の林海峰(ジャン・ラム)と葛文輝(エリック・コ)といった超人気DJを輩出したほか、I Love You Boyz、森美、小儀などラジオにとどまらず、映画、テレビ、雑誌、CMでも活躍するDJを多く抱えていて、「流行は903か

ら作られる」とまで言われた時期があったほどのラジオ局です。

1時間にニュースや天気予報も定期的に放送され、にぎやかな番組あり、落ち着いた番組ありと、バラエティー豊かです。

ラジオの聞き方

基本的にインターネットを使ってのラジオ聴取の場合、ライブ放送の聴取のみ無料で楽しむことができます。アーカイブを利用する場合は、登録、課金が必要になりますので、まずは、ライブで楽しんでみてください。キーワードになるのが、「網上直播」という文字。まさしくライブ放送という意味ですが、この商業電台のサイトの場合上部中央にある「網上直播」文字を見つけたらクリック。



画像1

するとこのような画面(画像1参照)が右端にできますので、赤丸で囲った中にある、聴きたい局の横にある、Windowsメディアプレイヤーまたはリアルプレイヤーのロゴを選択

しクリック。これで音楽ソフトが立ち上がり、ラジオを聴く事ができます。

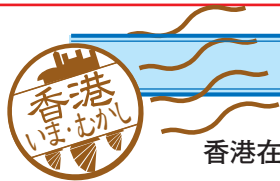
ただし、ネット環境により、音がとぎれとぎれになったり、聞けるまでに時間がかかったりする事があるということがあります。ブロードバンドであれば、ほぼ順調に楽しめる事と思います。

それぞれラジオ局のホームページには、「節目表(番組表)」(図では緑丸で囲っているところ)があります。

こちらをみていただければ、その日の番組が分かります。ただし、時差がある事をお忘れなく。日本より1時間遅い表示になりますので、お時間にはご注意ください！



月～金10:00～12:00(日本時間11:00～13:00)放送「早霸王」のパートナリティ森美と小儀。今年コンビ結成10周年を迎え、老若男女に人気。8月に10周年記念ミュージカルが開催された。



香港の食を豊かにしているもの

香港在住料理研究家 櫻井 景子



スイーツ・スイーツ香港/白夜書房 (2008)

私と香港との出会いは1989年。輪廻転生を信じない私ですが、香港の街を歩くたび「遠い昔にいた場所」という感覚と親しみを感じます。1996年から香港に移り14年。多くの方に「何故香港が好きなのですか?」とよく聞かれます。香港には多くの魅力がありますが、私を惹きつけている

最大の理由は「香港の食」にあると思います。

「食」への興味が盛んだった私は幼少のころから「食」に関する仕事をしたいと思っていました。香港で料理を学びたいと真剣に思うようになったのは、香港出張の際に初めて香港のレストランの厨房に入ったのがきっかけです。魔法のように仕上がっていく

料理を見て大きな衝撃と感動を覚えました。1年もあれば香港の食を理解出来るだろうと思って香港に来ましたが、14年いる今でもまだまだ理解しきれいていません。それほど深く幅広く変化に富む香港の食の魅力が多くの人を惹きつけているのでしょう。

これまで料理を学ぶため11カ国14地域の国や地域を訪れましたが、香港ほど世界中の料理を味わえ、またこれほど中国料理の美味しいところはどこを探しても他にないと思います。世界各国から豊富に物も人も集まる香港で、シェフたちは伝統を守りながらも自由な発想と創造で次々と新しい味覚、感覚、より高い水準へと香港の食を昇華させ洗練させています。提供する側、受ける側がお互いに相乗効果となり香港の食のレベル、地位と質を更にあげているのだと思います。

しかし最も香港の食を豊かにしているものは、「食」そのものにあるのではなく、人とのコミュニケーションツールとして「食」を重んじているところだと思います。美味しく調理した料理を、誰かと共に楽しむことによって生まれる連帯感や幸福感を香港人はとても大切にしている。それが香港の食を最も豊かにしている根源ではないでしょうか。

妙な中華料理

湾仔

最近香港では量は程ほどで上品な盛り合わせで二人でも食べられる中華が高級ホテルで流行っている。東京にもこの種の中華があちこちに出てきた。ホテルオークラの桃花林で皆さんも試されるとよい。皿なども日本製の美しいものだ。要するに日本食の美しさとフランス料理の味と重厚さを備えている。

先ず、前菜は各自の皿にクラゲなどの通常の前菜がよく映える小さな入れ物に乗って出てくる。

次は大盛りのふかひれスープだ。

そのあとフランス料理風にアレンジしたビーフ。これが実に旨い。舌がとろけそう。さらに野菜類などが続き、そこで北京ダック、伊勢海老、と続く。抵抗なく幾らでも腹に入る。最後は誠に美味なるお粥でデザートとなる。何しろ旨い、ゆっくり紹興酒を飲んでいる暇もない。何しろ箸が勝手に皿に向かってしまう。我が人生でも最高の中華料理で、今まで食べた中華は何であったのだろうかと言う気持ちになる。値段も高そうだがこの日は金持ちにご馳走になった。

中華料理では一般的には質より量を問題にする人が大多数だろうし、あらゆる素材をこなしてしまうので“おっかなびっくり”食べるのも食べ方の一つだし、中華料理が全て上述のような上品なものになるとは到底思えない。

素材を生きているうちから痛めつくすのも中華料理の特色だ。それを楽しそうに話題にして食べる人もいる。北京ダックはアヒルも可愛そうに口からパイプで胃に高蛋白の餌を流し込まれる、そのうえ毛をむしられ裸にされ高温の窯でゆっくり丹念にあぶり香ばしいあめ色の皮が仕上がるわけだが、つやを出すため蜂蜜とかの混ぜ物を塗っている。塗り薬の中身は詮索しないほうが良い。鰻の蒲焼の艶出しに発がん物質のスーダンレッドを使うとか、1年以上も前に全量廃棄されたはずのメラミン入り粉ミルクが堂々と市場に出回っているとか、そのメラミン被害者代表は社会秩序破壊罪で起訴されているという何でもありの国柄だから。さらに、何でも食べると言うのは恐ろしい話でもある。嘗てロンドンにいた時だが郊外の中華料理店の裏庭で犬がほえるので警察が調べたら犬の頭がごろごろ出て来て新聞で大騒ぎになったことがある。

最近中国で犬猫肉の食用を禁ずる法律が出ると騒がれている。毎年中国全土で千万頭の犬と四百万匹の猫が食用に消費されているとアジア動物協会は発表している。中高年層は強い白酒を飲み犬の鍋を囲むのが冬の健康法らしい。今のところ禁止令は実際に効果がないであろうとの論調が多い。それにしても人間は変なものを好んで食べるものだ。



「香港いま・むかし」特別企画座談会 ～香港生まれ・香港育ちの

ゲスト (敬称略) ■香港政府観光局 深野 香 ■SCS国際税理士法人 内藤 昌史
聞き手／構成 ■日本香港協会全国連合会 伊東 正裕 カメラ ■日本香港協会



内藤さん
下はお母さんと2歳の内藤さん(ビクトリア・パークにて)



香港についてお感じになられていることをお話いただきたくて考えておりますので、宜しくお願いします。先ずそれぞれの香港在住経験について、お話いただけますでしょうか？

深野 私は父の仕事の関係で、1970年代に約5年間、香港に住んでいました。生まれは日本なのですが、両親が香港在住時に出来た子供なので、香港の一字を採って「香」と名付けられました。飛行機に乗ることが出来る月齢になったら直ぐに香港に行ったのですが、小さかったのであまり記憶がありません。家には香港人のアマさんがいたのですが、よく2人で留守番をしたり買い物に行ったりしたこととか、父の運転する車でドライブしたことや離島にボートで行ったことなど、断片的な記憶しかないんです。5歳の時に香港を離れ、その後はカナダ、ベルギーと渡りましたが、カナダとベルギーの前半は現地校、小学校3年生からはブリュッセル日本人学校に移りました。高校からは日本に戻りましたが、都合15年間の海外生活を体験したことになります。

内藤 私は1970～80年代にかけて、連続15年間香港に住んでいました。生まれは日本なのですが、やはり生後間もなく当時の父の勤務地である香港に行き、現地の幼稚園・小学校(英語教育)に通いました。日本語をしっかり勉強した方が良いとの理由で、小学校6年から中学校3年までは、日本人学校に学びました。当時の香港日本人学校の仲間とは今でも年に1回くらい集まっています。当初は現地校に通っていましたが、家にはアマさんがいたので、広東語を話すようになりました。

笹岡 私は香港生まれです。今日この場で内藤さんとは、日本人学校で同級生だったことが判明し、驚いています。

生まれてから中学校卒業まで香港には滞在したのですが、途中小学校低学年の時に現地校に通った経験が少しある他は日本人学校で学びました。二人兄弟なのですが、弟も香港生まれ、香港との縁は浅からぬものがあります。



笹岡さん
下は6歳の笹岡さん(九龍公園にて)



伊東 お三方とも物心がついてから中学生まで連続15年間海外暮らしというのは、とても珍しいですね。私は、3歳で香港に行き、小学4年生までの6年間と中学校の3年間を香港で過ごしました。広東語教育の幼稚園に1年、英語教育の幼稚園に1年それぞれ通い、小学校からは日本人学校でした。皆さんもそうだったと思うのですが、両親が揃って出かけてしまうことが多かったので、アマさんとコミュニケーションする必要があり、自然と広東語が身についたのですが、小さい頃と言うのは言葉を覚えるのも早い一方で忘れるのも早く、約2年半のブランクを経て2度目に訪れた際には、全く言葉が分からなくなっていました。再会したアマさんの悲しそうな顔を今でも覚えています。私はその後台湾留学して北京語を勉強したのですが、直後に香港勤務となって、返還前で北京語が通じない環境下でしたので、テレビを毎晩見ているうちに広東語が蘇ってきたという経験があります。お三方は語学の方は如何ですか？

深野 私も当時は広東語を話していた筈なのですが、今は覚えていません。英語教育を受けた期間が長かったので、英語は今でも大丈夫なのですが。

内藤 私は広東語、話せません。現在も仕事で広東語を使う場面があるのですが、華人とは英語を話すよりも広東語を話す方が相手と仲良くなれるというメリットがあると思います。

笹岡 私はどちらかというと、後になって勉強した北京語が得意なのですが、仕事では英語を使うことの方が多いです。特に今の職場では、上司が広東語で話しかけてくるので、広東語を使う場面もあるのですが。

伊東 香港人のみならず華人と付き合う中で、広東語が話せるというのは日本人としては珍しいですし、ビジネス上もプライベートでも強みなんじゃないかな。それでは、現在のお仕事と香港との関わりについて伺いたいと思います。

深野 香港政府観光局の東京事務所に勤務して6年目になりますが、仕事とプライベートを合わせると多い年で年間8回くらいは香港に行っています。できるだけ多くの日本人の方に香港に行っていただくのが私のミッションです。

内藤 私は、香港と関わりのある仕事がしたくて、当時香港に本社を移した流通企業の日本事務所に就職して財務の仕事をしていたのですが、会社が倒産してしまいまして、その後会計事務所に勤務しながら税理士の資格を取りました。現在はシンガポールに本社を置く税理士事務所のパートナーをしています。勤務地は東京で、主として日本企業の海外進出案件を扱っています。香港進出の案件もありますが、仕事で香港を訪れるのは年に1回程度です。

笹岡 私は、香港にアジア本部を置いている米国企業に就職しましたので、香港で勤務する機会がありました。その後香港の中で転職をして、現在は香港貿易発展局東京事務所に勤務しています。入ったばかりなので、未だ香港出張も機会はないのですが、年に3回程度は出張の機会があるので、楽しみにしています。

伊東 私は、最初食品企業に就職し、在籍年数の半分以上を台湾・香港・中国で過ごしました。日本の企業は、良くも悪くもローテーションがあり、国内と海外を交互に経験

日本人が語る香港観～

■香港貿易発展局 笹岡 正太
全国連合会 室田 彩

するパターンが多いのですが、中華圏特に香港と関わりのある仕事に就きたくて4年前に香港貿易発展局に入りました。主として食品の輸出振興を担当している他、日本香港協会の事務局業務をサポートしています。それでは、ここで香港のいいところ、悪いところについて皆さんのお考えを伺いたいと思います。

深野 活気があるところでしょうか。香港に行くパワーを貰って運気も上がるんじゃないかという気がします。それと、イギリス統治時代の街並みがとても好きなのですが、最近イギリスらしさがなくなってきているのは少し残念ですね。

内藤 そうですね。香港と言えばバイタリティでしょうか。特に最近日本は元気がないので、余計そう感じるのかも知れませんが。悪い点は、とにかく暑くて湿気の多いところ、気候条件が厳しいところですね。食べ物は美味しいですよ。子供の頃、香港で父が顧客や友人と食事をする時に連れて行かれて中華料理ばかり食べていた時は、正直好きではなかったのですが、やはり香港の中華料理は最高だと思えます。

笹岡 私は、香港の自由なところが好きです。一方で環境汚染が深刻化しているのと、昔と比べると余裕のない感じ、融通が利かなくなっているところは悪い点と言えましょうか。性格的にはキツイけど独立心旺盛な人が多いと思います。

深野 同感です。香港人は独善的で、自分勝手に、人の話を聞かない、でも決断力はあると思います。

伊東 香港人は日本人の対極にある存在なのかもしれません。協調性があって、他人のことを慮って、人の話を聞く、でも優柔不断でなかなか物事が決められないのが日本人ですから。香港の国際色の豊かなところも魅力ですよ。寧ろイギリスの植民地でなくなっただけの方が、中国本土のみならず中近東とかアフリカとか世界中から人が集まっているように思います。

内藤 そうですね。昔と比べると相対的にインド人は減ってきている感じがします。

伊東 イギリスの植民地時代を経て中国本土に復帰した香港ですが、既に返還からは14年目を迎えました。香港の将来について皆さんのご意見を伺いたいと思います。

深野 この活気を持続して、良い方向に成長して欲しいと思います。香港は中国人の街でありながら、植民地であったがために西洋の文化が入り込み、東洋と西洋の要素がうまく融合し洗練されているところが本土とは違う点だと思います。中国本土から訪れる人が急増していると聞きますが、香港が成金化するのは避けて欲しいですよ。最近香港に行く、大陸から来た大金持ちが高級酒を注文したり、高級ブランド店で行列を作って買物をしているのを見かけます。

笹岡 同感です。香港は97年以降英国色がどんどん薄れて、良くも悪くも中国大陸の影のようなものを感じます。中国色が強くなるのは止むを得ないとしても、いつまでもインターナショナルな香港であって欲しいと思います。

内藤 私は仕事柄シンガポールにも良く行くのですが、アジアの国際都市として「シンガポールみたいになるな」、「シンガポールには負けるな」と心では香港を応援してい

ます。シンガポールの方には失礼かもしれませんが、綺麗過ぎて面白味がない、その点香港は多少ごちゃごちゃしたところが良いと思います。そういった香港らしさは無くなって欲しくないですね。

伊東 私も香港

に行くと、そのバイタリティに刺激を受けます。人々が独立して活き活きしているところが好きですね。

笹岡 日本はそういった香港の良いところを学ぶべきではないかと思えます。

深野 日本人はもっと香港人と付き合えば良いのではないのでしょうか。ルーツは植民地根性なのかも知れませんが、どんな困難なことがあっても生き抜く力を持っているのはすごいですよ。

内藤 私は税理士なので、世界各国の税制度に精通しているのですが、何故日本は欧米諸国からばかり学ぼうとするのか、もっとアジアから学ぶべきではないかと考えています。特に香港の租税システムは素晴らしい。日本では増税の話ばかり聞かれますが、特に税金の取り方に関しては、ヨーロッパでは消費税率がもっと高いから日本も上げるべきだという議論は短絡的過ぎます。アジアの殆どの国々は消費税率が低くてもやって行けているわけですから。

伊東 色々な意味で香港には学ぶ点が多いですよ。日本人がもっと元気になるためには、そして日本が国際化するためにはもっと香港人と交流すべきではないかと思えます。お三方は、小さい頃に15年もの長きに亘って海外生活をされたという貴重な経験をお持ちで、生まれながらにして国際感覚を身につけておられるわけです。そういった強みを活かして、今後の益々活躍されることを期待しております。本日はどうも有難うございました。



深野さん
下は3歳の深野さん（レパルスベイにて）



左から深野さん、内藤さん、笹岡さん、伊東さん

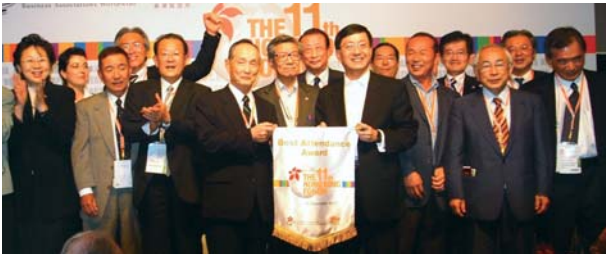
「第11回香港フォーラム」 & 「全国協会交流会」 開催報告

日本香港協会 全国連合会 事務局



全国協会交流会参加者集合写真

第11回香港フォーラムにて、日本香港協会が2年連続 “ベスト・アテンダンス・アワード”を受賞！



ベスト・アテンダンス・アワードの表彰を受ける日本香港協会の面々

去る12月1日・2日、香港ビジネス協会世界連盟 (Federation of Hong Kong Business Association Worldwide/本部=香港貿易発展局内)の世界大会「香港フォーラム」が開催されました。第11回目の開催となった今年は、全世界から370名以上の会員が参加し、大盛況のうちに幕を閉じました。

今年のフォーラムには、8月に設立された広島日本香港協会からの参加者も多数あり、日本全国の参加者は昨年の85名を上回り総勢98名を数え、国別での参加者数が世界一となり2年連続で“ベスト・アテンダンス・アワード”を受賞しました。

また、各協会の活動に対する受賞式では、世界各地からの多数の応募の中から、NPO法人日本香港協会(東京)が「ベスト・イニシアティブ・アワード(年間の活動・内容を表彰)」と「アウトスタンディング・メンバーシップ・アワード(会員数の増加を表彰)」の2つを、関西日本香港協会と九州日本香港協会が「アウトスタンディング・メンバーシップ・アワード」を見事受賞しました。



アウトスタンディング・メンバーシップ・アワードを受賞した東京・関西・九州日本香港協会



ベスト・イニシアティブ・アワードを受賞したNPO法人日本香港協会

12月1日-2日の2日間の会期中にはビジネスセミナー、パネルディスカッション、ワークショップ、ネットワーキングセッション、視察ツアー等多くのイベントが催されました。2日間のランチセミナーには、リー&フォン・グループの主席ビクター・フォン博士と香港特別行政区政府のWong Yan Lung法務長官が登場し、貴重な両者の講演に参加者は全員聞き入りました。視察ツアーでは昨年も人気があったワイナリーの見学、そして香港の映像制作会社(Central Digital Pictures)のスタジオ見学等がありました。

最終日のフェアウェルディナーでは世界中のメンバーが名刺交換をするなど国際的な交流が見られ、ビクトリアピークからの美しい夜景を眺めながら、メンバー一同楽しいひと時を過ごしました。



香港貿易発展局フレッド・ラム総裁と各地日本香港協会の代表者

広島協会を含めた全9協会が香港に集まりました

香港フォーラムの前日の11月30日には、六国ホテルにて第3回全国協会交流会が開催されました。ラルフ・チャウ香港貿易発展局プロダクト・プロモーション・ディレクターの挨拶の後に年に1回の全国連合会役員会および各協会からの報告会が行なわれ、活動成果および今後の展開を参加者で共有しました。

全国交流会では本年の幹事である沖縄日本香港協会の進行のもと、國場会長の開会挨拶に続いて全国連合会の木全副会長と在香港日本国総領事館の隈丸総領事のご挨拶もいただきました。今年は香港政府観光局のご好意でカンフー・ショーが披露される等、会場は大いに盛り上がりました。香港での年に一度の交流会には毎年110名以上の会員様にご参加いただいております。今年ご参加いただけなかった方は、是非来年ご出席いただき、メンバーとの交流を深めていただければと思います。

過去最大の出展となった「イノベーション・デザイン&テクノロジー・エキスポ」



Japan Design 2010

香港フォーラムと重複開催となった、「イノベーション・デザイン&テクノロジー・エキスポ(IDTE)」では、日本から計2,145㎡の出展面積にてジャパニデザインを世界に発信いたしました。財団法人日本産業デザイン振興会と日本貿易振興機構(ジェトロ)が主催したトレード・パビリオンでは、700㎡の敷地に55の企業・デザイナーが出展し、100件以上の商談が行なわれました。同じく日本産業デザイン振興会主催の「Japan Design 2010」には、九州旅客鉄道株式会社をはじめ選りすぐりの8社が出展。その他、社団法人日本グラフィックデザイナー協会のデザイナーによる「Romance展」、経済産業省・ジェトロ主催の「感性価値デザイン展」が開催され、香港や世界各地からの来場者の注目を大きく浴びました。多くの関連イベントが開催され、12月2日には「ジャパン・デザイン・ビジネス・セミナー」を開催し、九州日本香港協会石原進会長にもご登壇をいただき、日本デザイ

ンを大々的にPRすることができました。

また、IDTEと同時開催の「世界中小企業エキスポ」にも、財団法人東京都中小企業振興公社や独立行政法人中小企業基盤整備機構などが出展し、支援企業の商品を展示いたしました。12月3日には「フランチャイズセミナー」が開催されミニストップ株式会社取締役会長横尾博氏にご登壇いただき、日本のフランチャイズビジネスの現況などをご紹介いただきました。

全国連合会からのお知らせ

全国事務局長会議を開催いたしました



懇親会にて集合写真

去る8月27日(金)、香港貿易発展局東京事務所に於いて2010年度全国事務局長会議を開催いたしました。当日は今年8月に設立された広島協会を含めた9協会の事務局長・代理の局員の皆様と、香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部と香港政府観光局の方にもオブザーバーとして出席いただきました。各協会からの活動実績報告及び活動予定の発表を行ない、また協会間での有意義な情報交換の場となりました。会議の後は懇親会を行ない、昨年同様NPO日本香港協会のご好意でAYOコンサートへご招待をいただき、事務局間での交流も深めることができました。

第8期チャイニーズマネージメント&マーケティング・スクール(CMMS)

今年6月より開講した第8期チャイニーズマネージメント&マーケティング・スクール(CMMS)は理論編が終わり、10月末より実践編に突入しました。一部受講を含む39名の受講者は、理論編で学んだ諸概念を駆使し、実践編にて実務現象の分析力を身に付けています。

TOKYO

NPO法人日本香港協会

第22回世界文化賞授賞式 AYOが若手芸術家奨励団体に選定

NPO法人 日本香港協会



世界文化賞 受賞者記者会見 (10月12日)
リチャード・パンチャス氏 (左から3番目)

今年設立20周年を迎えたAYO(アジアユースオーケストラ)が「高松宮殿下記念世界文化賞」(主催:財団法人日本美術協会)の若手芸術家奨励制度の対象団体に選ばれ、AYO創設者で芸術監督のリチャード・パンチャス氏に表彰状と奨励金が授与されました。

世界文化賞は国境や民族を越えて世界的に活躍する芸術家を顕彰するもので、今年度は建築家の伊東豊雄氏、女優のソフィア・ローレン氏など5人が受賞しています。若手芸術家奨励制度は、同賞の一環として次世代を担う才能の育成を目的に発足。授賞式で常陸宮殿下は「香港を拠点にアジアの若い音楽家たちを育てているAYOが選ばれ、そこにアジア十数カ国の若い音楽家たちが毎年集まっていることを聞き、次世代への希望を感じました」とお言葉を述べられ、パンチャス氏は「各国のボランティア、寛大な支援をしてくれた個人や企業、AYOの一員となることに情熱を傾け、我々の追求する卓越性の達成に向けて努力してくれた若い音楽家達に代わり、この名誉ある賞をいただくことを誇りに思います」とスピーチを締めくくりました。

日本をはじめアジア各国で指揮者、音楽教育者と

して活躍するリチャード・パンチャス氏が、世界的なバイオリニスト、指揮者の故ユーディ・メニューイン氏とともにAYOを設立したのが1990年。以来、世界77の都市で300回以上の演奏会が行われてきました。記念すべき20周年公演にはソリストに世界的チェリストのジャン・ワン氏を迎え、日本、中国、台湾、香港、韓国、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムの11の国と地域から108人のメンバーが参加。シューマンのチェロ協奏曲、マーラーの交響曲第5番といった大曲に挑んで注目を集めました。

この夏のツアーは中国・深圳を皮切りに、国内では佐賀、別府、京都をまわって熱烈な歓迎を受け、満杯の東京・オペラシティホールで最終日を迎えました。演奏後、鳴りやまぬ拍手の中であふれる涙をぬぐい、抱き合うメンバーたち…。例年、心うたれる光景です。期間限定のAYOは毎年、30日間の厳しい香港リハーサル・キャンプに続き30日間のツアーを終えると解散。そしてプロのオーケストラで活躍する卒業生も少なくありません。

今年もAYOの熱い夏は終わりました。世界文化賞若手芸術家奨励制度の栄誉ある受賞を機に、アジアの若手音楽家育成というAYOの活動がますます発展し、メンバーからひとりでも多く将来を担う音楽家が世界に羽ばたいていくことを願ってやみません。

KANSAI

関西日本香港協会

「香港のまちづくり」に学ぶ「大阪のまちづくり」～文化庁主催の「大阪のまちづくり」を考えるセミナー～

関西日本香港協会事務局



文化庁主催セミナーで講演する
ベンジャミン・ヤウ香港貿易発展局大阪事務所長

関西日本香港協会では文化庁主催の「大阪のまちづくり」を考えるシリーズセミナーを実施しました。地域開発や町づくりをテーマに活躍しておられる著名な方達に講師をお願いし、大

変有意義なセミナーでした。

第1回は5月19日に(株)グローバルミックス代表取締役の勝見博光氏に「第二都市戦略～創造都市モントリオールを事例に～」

第2回は6月17日に大阪大学大学院国際公共政策研究科准教授の赤井伸朗氏に「香港国際空港の経営戦略にみる関西国際空港問題への示唆」、第3回は7月14日に景観デザイナーの二見恵美子氏に「ひと鉢から始める緑のまちづくり」をテーマに各々大変興味深いお話をして頂きました。

第2回の赤井氏のセミナーでは、ランタオ島に出来た香港国際空港が空港と香港島を24分で結ぶ便利な鉄道と高速道路を建設した交通インフラと道路周辺の住宅地、商業施設の開発が同時に実現し、新空港内の商業施設を充実させたことにより、収益性の高い空港となり地域開発も同時に実現出来たということです。中国市場の急拡大に伴い、急増している空港利用客と物流に見事に対応している様子を学ぶことが出来、採算が悪く不便な関空問題に貴重なポイントを示唆しているように思われました。

8月23日には、シリーズ最後のセミナーとして香港貿易発展局大阪事務所長のベンジャミン・ヤウ氏に「香港のまちづくりと国際マーケティング戦略」と題した特別講演をお願いしました。香港の発展史、香港の地理、中国一の国際都市、香港のまちづくり(香港国際空港、旧啓徳空港の再開発、香港・珠海・マカオ大橋、香港島WATERFRONT再開発)などについて説明され、香港がダイナミックにより便利で魅力的な町に発展している様子がよく理解できました。

中京日本香港協会 近況報告

中京日本香港協会 副会長・事務局長 佐藤 亮一



ベンジャミン・ヤウ香港貿易発展局大阪事務所長（左）から授与を受ける高橋新名誉会長と豊島新会長（右）

中京日本香港協会として、年度後半に至り行事2点報告と致します。

まず第一に特筆すべきは、現・当会長の高橋治朗会長の名古屋商工会議所「会頭」への就任であります。皆様ご存じの通り、名古屋商工会議所副会頭9年に亘り、経済界、財界の重鎮として努力され、今後更に将来の名古屋財界を牽引される大先輩として大きな重職を遂行される訳ですが、中京日本香港協会も大いなる称賛すべき大ニュースである。

就任されるのは、正式には11月2日予定されているとのことであるが、当面、多忙な毎日の中、日程調整し、中京日本香港協会は、平成22年度臨時総会を10月19日（火）に開催し出席全員・理事には、経過報告と共に新・旧交代承認の総会決議を実施、全員賛同の上、その後全会員他連絡機関に報告された。

また、高橋会長より役職だけでも50種近く数多くされることになるため、当協会の承認事項が停滞招かぬよう中京日本香港協会の会長職を辞したいとの御希望が出された。当協会としては、高橋会長に名誉会長として今後も時間の都合がつけば理事会ほか、行事には引きつづき携わり、助言を頂けるとの了解を得た。

新会長には、現中京日本香港協会副会長豊島徳三氏（前豊島副会長、現在は株式会社 喜斎 代表取締役）の就任を要請、同理事会で承認され、今後の当協会を指導して頂くべく選任された。新任豊島会長も財界人として名古屋経済界では高橋会長と同じく知名度、実力とも最適であり、全員一致にて今回の新・旧交代の人事は承認とされた。10月19日に開催された臨時総会の際には、新旧会長に対し、今までの功績を称える香港貿易発展局総裁からの感謝状、古田茂美日本首席代表からの就任祝いの電報などが香港貿易発展局 大阪事務所長のベンジャミン・ヤウ氏、東京事務所次長の伊東正裕氏の両氏より贈呈され、協会関係者を代表して感謝の意を表したい。

第二として、秋の香港ビジネスセミナーを10月19日（火）に香港貿易発展局と共催、また後援として、名古屋市国際交流課、日本貿易振興機構（ジェトロ 名古屋貿易情報センター）、名古屋商工会議所、東海日中貿易センターにお願いし開催した。講師として三恵有限公司 顧問の西口元三氏による講演「香港と中国、そして日本～香港人とどう向き合うか、互いに助け合おう～」、そして（株）東海東京調査センター 外国企業調査部副部長 林 昇平氏の講演「中国経済及び香港株式市場と如何に付き合えばよいか」を盛大に実施した。香港・中国を理解すべく一端として現状一部日中間諸問題あるも、約60名の参加者にて実施する運びとなり、まずまずの年間の行事・企画は全て完了出来たこと各方面には協力感謝する次第です。10月23・24日には毎年開催され、当協会も参加しているワールドコロポフェスタが栄公園のうちの木広場で行われた。中京日本香港協会の文化交流のブースを設置し、香港政府観光局のご指導のもとジャッキー・チェンの立て看板、香港観光資料を用意し香港の広報を行った。あいにくのお天気ではあったが、留学生など大勢の訪問者があり盛況であった。



ワールドコロポフェスタの中京日本香港協会ブース

このような広報の場を利用して、香港ならびに中京日本香港協会のプレゼンスをPRして行きたい。

その他事項として、地球環境の2大条約の一つであり、昨年末デンマークのコペンハーゲンで開催された気候変動枠組条約締約国会議（COP15）と肩を並べる、生物多様性条約締約国会議（COP10）が今年10月18日より29日まで、さらにそれに先立つ11日から15日まではその一角であるカルタヘナ議定書締約国会議（MOP5）も名古屋の白鳥国際会議場で開催される。この会議、アメリカ不参加にしても世界192カ国7,000人～8,000人の関係者来名予想されており、当協会に関係ある香港・中国よりの参加に対する動向も今後情報入手して報道関係機関などに働きかけてゆきたい。

平成22年度第1回通常総会・講演会開催

九州日本香港協会 事務局

夕食会を開催しました



中国レストラン「鴻臚」

去る7月20日（火）、ホテル日航福岡の中国料理レストラン「鴻臚」にて、夕食会を開催しました。当協会の会員でもあるホテル日航福岡では、7月1日～31日の期間中、「香港世界～焼物と活海鮮の醍醐味～」と題し、限定メニューとして香港料理が提供されました。席上では、参加者の香港との関わりについて紹介しあうなど、和やかな雰囲気の中様々な話題で盛り上がりました。また、「鴻臚」の片岡料理長から、ディナーコースの料理の説明や、今回の限定メニューの準備のために実際に香港に行かれたときのことなど、貴重なお話をお聞きすることができました。香港料理に舌鼓をうちながら、会員の皆様同士の親睦をさらに深めるひとときとなりました。



夕食会の様子

上海万博「孫文と梅屋庄吉展」オープニングセレモニー出席



セレモニーの様子

2010年5月1日から10月31日まで中国・上海にて開催された上海国際博覧会。8月24日から29日まで、

日本館イベントスペースにおいて「孫文と梅屋庄吉展」が開催されました。中国の国父孫文と長崎生まれの日本人実業家である梅屋庄吉の30年に及ぶ交流について、写真、手紙などの所蔵品の展示や二人の交友を描いたドキュメンタリー作品の上映などで紹介されました。24日には、オープニングセレモニーが行われ、辛亥革命100周年記念行事日本実行委員会の委員長である福田康夫元首相をはじめ、当協会の石原進会長らが出席しました。セレモニーには日中の関係者約160名が集まり、6日間の開催期間中に、2万人を超す人が来場し、大変賑わいました。この企画展示は、梅屋庄吉のひ孫にあたる、日比谷松本楼常務取締役の小坂文乃さんが中心になって進めてこられました。



展示会の様子

これまでも「飛龍」紙面にてお知らせしてきましたように、九州と孫文は大変深い関係にあります。福岡、熊本、長崎の各地では多くの人々が孫文の活動を支援し、その足跡も数多く残され今もなお大切に保存されております。孫文は現在の香港大学医学部の前身にあたる西醫書院にて医学を学び、また、1895年に写真館を運営していた梅屋庄吉と香港で出会うなど、香港は孫文との結びつきも強く、そういったことから当協会は「孫文と梅屋庄吉展」への活動を支援しており、今後も取り組みを継続してまいります。来年は辛亥革命100周年の記念の年にあたることから、さらに九州と香港・中国との友好関係強化に努めていきたいと考えております。

事務局が移転しました

9月1日より、これまでの九州旅客鉄道(株)経営企画部内から(社)福岡県中小企業経営者協会内に事務局が移転しました。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

(社)福岡県中小企業経営者協会 (中経協)

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-9-28
TEL : 092-451-8593 FAX : 092-451-9379

山形における有機ELの現状と将来性について

山形日本香港協会 副会長 大山 康吉



「ELリング」は、県産業技術振興機構が有機EL照明デザイン公募で最優秀賞に輝いた作品

山形県が中心となり2003年度から始まった「有機エレクトロニクスバレー構想」が徐々に注目されています。近年エコロジーが叫ばれる時代に欠かせない照明としてLED照明が大きな注目をあつめていますが、その次世代の明かりが有機EL照明であろうと思われます。

この有機EL照明は、さまざまな可能性を秘めており、寿命や省エネ性に優れているのはもちろん、ちらつきやムラのない柔らかな面光源で紫外線を含まないのが特徴です。さらに、太陽光のようなモノ本来の色が再現され、発熱が少ないために生活空間のみならず、美術館や高級商品の展示照明などにも期待されているものです。今後の改良が進むと、曲げることができる照明や発光色を自由自在に変化することができるため、用途に合わせて雰囲気が楽しめる照明が実用化される日が来るそうです。更に、進化させると壁や天井の全面が光を放つなど、これまでの照明の常識を超えるものとなります。

山形県米沢市がその研究の中心地であり、生産拠点として期待は高まっております。有機EL照明は日本のシリコンバレーを目指し、産学官の連携をうたい、7年間で約50億の県費を投じている県民の「夢の光」なのです。上海万博日本館のゼロエミッションタウン「CO₂ゼロの未来都市」にも展示採用されました。

また、山形大学工学部ドリームチームが主体となり、有機EL照明と同様に有機太陽電池・有機トランジスターのプロジェクトも、世界的研究者の招聘を進めています。3分野の連携でその相乗効果が期

待され、城戸教授をはじめ有機ELの世界的第一人者によって、米沢で最先端の研究が始められ、将来は日本版シリコンバレーになるような大きな期待がかかっております。

ただし、激しい国内外の競争にも晒されており、サムスン電子・オスラム・GE・フィリップスの照明光源メーカーをはじめ、国内大手メーカー（パナソニック・パイオニア・コニカミノルタ・NECなど）も単独で豊富な研究費を投じて参入することが予想されており、山形の優位性をどこまで保ち続けることができるかが大きな課題としてあり、手を緩めることなくこのまま世界をリードできるように努力を重ねているところです。

「世界の工場」として中国の地位は揺るぎないところですが、日本の製造業の衰退はあまりにも酷い状況下であり、特に地方都市は大企業の下請け工場群や系列工場は不要になったままです。そのため、雇用指数は下がるばかりで、就職先は全く期待できない状態にまで落ち込んでおり、未曾有の円高も手伝って県内の就職希望学生にとっては、四面楚歌の状態と言わざるを得ません（日本の地方都市の共通の悩みであり、大卒の3割～4割が就職できない状況までに広がり社会問題化しています。）

山形県は、第1次産業、観光産業以外の産業育成が急務であり、県民のひとりとして当プロジェクト構想の成功を夢みている次第です。

有機EL照明にご興味や詳細についてのお問い合わせ先は、当山形協会大山までご連絡いただきたいと思ひます。



「ICHIMATSU」は、上海万博日本館のゼロエミッションタウン内で採用設置された同タイプのもので、米沢市庁舎に設置されたもの

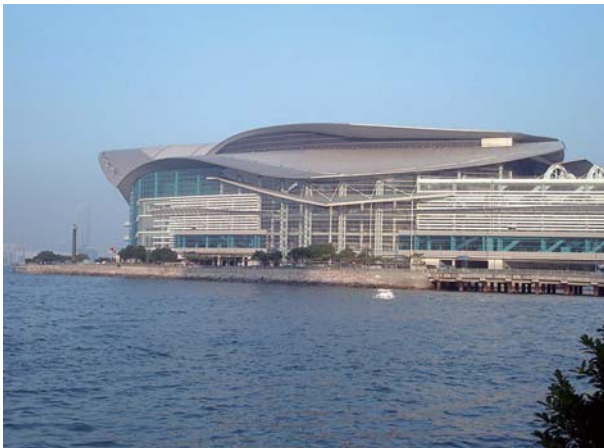
HOKKAIDO

北海道日本香港協会

～香港貿易発展局 主催～ 「香港フードエキスポ 2010 (Food Expo 美食博覧)」に参加しました

北海道日本香港協会 事務局

北海道日本香港協会では、2010年8月12日から14日までの3日間、香港コンベンション&エキシビションセンターで行われた「香港フードエキスポ2010」への参加・視察と現地調査を行いました。今回はその模様をご報告いたします。



会場の香港コンベンション&エキシビションセンター

〈香港フードエキスポについて〉

香港貿易発展局が主催する世界最大規模の国際食品見本市「香港フードエキスポ2010」は、22ヶ国・741社が参加、バイヤー・業界関係者が1.2万人、一般入場者を含めると37万人もの来場者を集めました。

北海道からは、北海道日本香港協会・北洋銀行・札幌商工会議所から参加企業を募り、北海道日本香港協会会員を含む13社が出展し、安心・安全・美味しい「北海道の食品」をPRしました。

香港では北海道人気から「北海道ブランド」の優位性が以前にも増して高まっており、北海道ブースは連日大盛況の賑わいとなり、連日、現地バイヤーとの積極的な商談が行われました。



連日大盛況だった北海道ブース

〈ミス日本が北海道ブースに！〉

2日目には、2010年度ミス日本グランプリの林史乃(みな)さんが北海道ブースを訪れ、商品PRをおこないました。参加各企業との記念撮影も行われ、和服姿のミス日本をひと目見ようと、周囲は身動きが取れないほどの賑わいとなりました。

フードエキスポ終了後には、香港のスーパー、百貨店の視察を行いました。店内には「北海道」の名を冠した菓子・飲料等が数多く販売されているほか、寿司・刺身といった生鮮食料品や加工食品が数多く並んでおり、日本の店内と同様の雰囲気。価格は日本の2～3倍ですが、最近では現地に住む日本人より、地元の富裕層が購入する割合が多いそうです。富裕層は、「美味しい・安心・安全」な食品は多少高くても買い求める事が多く、中でも北海道食品の人気が高いとの事。年に数回開催する「北海道物産展」は毎回大盛況とのお話でした。



商品PRを行うミス日本の林史乃さんと日本清酒佐藤氏

〈香港フードエキスポに参加して〉

今回出展した各企業に感想を聞いたところ、「香港の北海道人気は想像以上」、「フリーポートである事が魅力」、「香港はビジネスのスピードが速い。物流ルートが整っており、通関もスムーズ」等、香港ビジネスの優位性を感じ取られた様子で、大変有意義なものとなりました。

今回のフードエキスポでの商談により、香港への輸出が決まった商品もあり、これから香港で北海道食品を見かける機会がますます増えるかもしれません。

北海道日本香港協会では、今後も香港関連の情報提供、ビジネスサポートを関係機関と連携しながら行っていく予定です。

宮城日本香港協会 事務局 武田 功

食産業ビジネスセミナーを開催しました

サミュエル社長（前列左から4人目）との記念撮影

9月10日（金）ホテル仙台プラザにおいて、香港から新大和（香港）有限公司社長のサミュエル・ヨン氏を招聘し、「食産業ビジネスセミナー」を開催しました。35名の方々が参加し、熱心に耳を傾けていました。

最初に登壇したのは香港貿易発展局東京事務所次長の伊東正裕氏。「香港及び珠江デルタ地区の最新経済動向について」と題して、約1時間にわたって講演されました。

「香港の地理的優位性と年間3,000万人の観光客等で国内市場の拡大にビジネスチャンスは広がる。背後には中国の輸出入高の27%を占める珠江デルタ地域が広がり、一昨年は日本・香港交流年として、親善大使にジャッキー・チェン氏と木村佳乃さんが活躍、豪華ツアーが即日完売するなどの賑わいを見せた。最近では香港深圳一体化構想や港珠澳大橋が計画されるなど、益々元気である」と。そして、サミュエル・ヨン氏の講演、「香港食事情について」と題して、通訳を交えながら約50分間、スーパーマーケット、レストラン、クルーズ船等に食材を供給する新大和有限公司のビジネスについて紹介、「日本食材の需要が伸びており、ビジネスチャンスが広がっている」と。終了後、講師を囲んでの懇談会を開催、最後に記念に、香港進出の決意を込めて、サミュエル・ヨン氏と共に1枚の写真に収まりました。

広東語教室で中間懇談会を開催しました

22年度の教室を7月に開講して4ヶ月目になりました。月2回の教室、仕事の関係で都合がつかず、月1回になる人もいます。そんな中、少しでも親しみを持って教室のメンバーとお話しができたらとの思いで、佐藤副代表理事出席のもと、10月13日（水）日本料理の「千よ新」に於いて中間懇親会を開催しました。先生には「飲茶の礼儀について」との題名で、指を曲げて茶杯のそばを叩くという香港流お礼の仕方や、広東語のレストラン・メニューを教科書として、いろ

んな広東料理の読み方やお勧め料理などを教えて頂き、予定の2時間もあっという間に過ぎてしまいました。



楽しかった懇談会（於：千よ新）

女性部会主催によるライブコンサート及び料理教室を開催しました

客席と一緒に楽しむ会場風景

7月26日（月）夜、国分町のレモンシャトービル5階のライブハウス、チャーリーズ・レモン・カントリーに於いて、地元のバンド、エル・アルマによるライブコンサートを開催しました。15名の会員、友人の方々が参加。2時間という短い時間でしたが、演奏者と一緒に南米の音楽（フォルクローレ）を堪能することができました。

「コンドルは飛んでいく」「バルセロ・デ・チチカカ」「カチャルパヤ・デル・インディオ」など8曲の演奏で、南米特有のとても楽しい世界に浸ることができました。

また、総勢17名が参加して、今年度第1回目の料理教室を開催しました。

メニューは、洋食、デザート付きです。「鶏肉のペルシヤード焼き」「タコと茄子のマリネ」、そして「生とうもろこしのスープ」とデザート「モカゼリー」でした。

オール電化の主演、IHクッキングヒーターを使用している手早く美味しく出来あがる。食べる時もまた楽しそうに、終始とても和やかに、また和気藹々と開催することができ、参加のみなさんにとっても満足していただきました。

沖縄日本香港協会 事務局

沖縄日本香港協会 通常総会・懇親会 開催



沖縄日本香港協会通常総会

沖縄日本香港協会(会長:國場幸一)の平成22年度通常総会が、平成22年8月25日(火)午後4時より、ホテル ロイヤルオリオン 2階 旭の間で開催された。

沖縄日本香港協会は、沖縄と香港の直行定期便が5年ぶりに就航したことを機に、香港貿易発展局の協力の下、沖縄と香港の文化・経済交流を目的に平成20年5月に設立された。通常総会では、平成21年度事業報告・収支決算及び平成22年度事業計画・収支予算が、承認された。

昨年度の事業報告

平成21年度 通常総会の開催

日 時:平成21年9月29日(火)午後4時~
場 所:那覇商工会議所 2階ホール
議 案:第1号議案 平成20年度 事業報告について
第2号議案 平成20年度 収支決算について
第3号議案 平成21年度 事業計画について
第4号議案 平成21年度 収支予算について
報 告:沖縄から香港への農産物等輸出促進対策事業の概要について
那覇商工会議所 企画業務部 幸地 勲

香港フォーラムへの参加

日 時:平成21年12月1日(火)~12月2日(水)
場 所:香港コンベンション&エキシビジョン センター
内 容:世界23カ国の香港協会関係者のビジネスミーティング
主 催:香港貿易発展局
沖縄日本香港協会参加者 10名

沖縄日本香港協会 春節セミナー・春節パーティーの開催

日 時:平成22年3月9日(火)
場 所:かりゆしアーバンリゾートナハ 6階 王朝の間
主 催:香港貿易発展局 沖縄日本香港協会
後 援:那覇商工会議所
参加人数:58名

(1) 春節セミナー

講 演:「香港のマーケットにおける沖縄リゾートウェディング・ビジネスについて」
沖縄ワタベウェディング(株)
代表取締役社長 翁長良晴氏

(2) 春節パーティー

来 賓:安里カツ子氏(沖縄県副知事)
古田茂美氏(香港貿易発展局日本首席代表)
以上の事業を行うとともに、JETROのセミナー等の開催協力を行った。

特に、春節セミナーでは、沖縄のリゾートウェディングの可能性が期待され、観光関連のみならず、婚礼ギフトやレンタル衣装業など多くの参加者があり、盛況であった。

本年度の事業計画は、香港フォーラムへの参加、春節香港ビジネスセミナーの開催、春節セミナーの開催などの計画が了承された。

沖縄県は、島嶼の不利な条件から、製造業等の基盤が決して強くない状況が続いている。しかしながら、急成長するアジア地域、特に上海・香港の中国沿海部の大都市と日本本土や東南アジアの中での地理的優位性を活かした、ビジネスモデルの開発が課題となっている。

沖縄の地理的優位性はもとより、美しい自然や健康・長寿のイメージを活かした商品やサービスの開発が急務である。

沖縄日本香港協会としては、今後も、日本香港協会のご協力のもと、最新のビジネス情報やマーケット情報を提供しながら、沖縄と香港との関係をさらに促進できるよう事業を展開する。



総会会場の様子

飛龍 No.66 2010年12月 発行

(禁無断転載)

日本香港協会 全国連合会

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4 トラスティ麹町ビル6階
香港貿易発展局 東京事務所内
電話(03)5210-5901 FAX(03)5210-5860

NPO法人日本香港協会(東京)

〒102-0083 千代田区麹町3-4 トラスティ麹町ビル6階
香港貿易発展局内 電話(03)5210-5870

関西日本香港協会

〒541-0052 大阪市中央区安土町2-3-13 大阪国際ビルディング10階
香港貿易発展局内 電話(06)4705-7030

中京日本香港協会

〒541-0052 大阪市中央区安土町2-3-13 大阪国際ビルディング10階
香港貿易発展局内 電話(06)4705-7030

九州日本香港協会

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目9-28 会議所ビル
(社)福岡県中小企業経営者協会内 電話(092)451-8593

山形日本香港協会

〒990-2432 山形市荒瀬町1-14-21
(株)日本不動産コンサルティング内 電話(023)633-2110

北海道日本香港協会

〒060-8661 札幌市中央区大通西3-11
北洋銀行国際部内 電話(011)261-4288

宮城日本香港協会

〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-7-23 明治安田生命仙台一番町ビル3階
(株)JTB東北 交流文化事業部内 電話(022)212-5552

沖縄日本香港協会

〒900-0033 那覇市久米2-2-10
那覇商工会議所内 電話(098)868-3758

広島日本香港協会

〒730-0052 那覇市広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ3階
ひろしま産業振興機構 国際ビジネス支援センター内
電話(082)248-1400

URL <http://www.jhks.gr.jp>

広島日本香港協会が設立

広島日本香港協会 事務局

広島日本香港協会は、県内企業の事業拡大と国際競争力の向上を図るため、香港はもとより中国本土や成長著しいアジア地域との取引・業務提携などの企業活動の支援を目的に、日本香港協会全国連合会の一員として、2010年8月10日に設立されました。今年に入り、香港貿易発展局の古田茂美日本首席代表からの働きかけもあり、広島県下民間企業・団体が設立に向け、準備を進めました。会長には広島県商工会議所連合会会頭が就任し、事務局は(公財)ひろしま産業振興機構が務めております。10月末現在で法人会員93団体、個人会員6名を擁しております。



設立総会の様子

8月10日の設立総会では、各役員、平成22年度事業計画、予算案等が満場一致で承認されました。続いて行われた講演会では、香港貿易発展局古田日本首席代表に「遂に到来した中国の衝撃とアジアの時代～なぜ香港なのか—広島経済のグローバル化と成長促進」と題してお話をいただきました。これから海外の市場で活躍しようとする会員にとっては大変意義のある講演でした。その後開催された設立祝賀パーティでは、古田代表をはじめ、日本香港協会全国連合会財前宏会長、中国経済産業局の井辺國夫局長、広島県の城納一昭副知事、広島市の棚田展義経済産業局長を来賓に招き、今後の協会に対する期待や励ましの言葉を頂き、協会の設立にふさわしい華やかなパーティ

となりました。

先述の講演会で、古田代表は、広島日本香港協会によって、

1. 農水産物・加工食品・外食チェーン、2. 自動車部品・生産

ロボット技術、3. 環境技術・生産技術、4. コンテンツ・映画・アニメ・ゲーム、5. デザイン・創造性産業、6. ベンチャー企業、など広島の優れた技術が香港とともに中国・アジア市場へ展開される期待を指摘しました。広島には、歴史ある自動車・造船等の分野から、電気機械、電子部品・デバイスなどの先端産業までの幅広い分野で世界屈指の独自技術を有するオンリーワン・ナンバーワンの製造業が数多くあり、各分野において高度な技術・ノウハウ・人材の蓄積を誇っています。さらに、産学官の連携を強化し、新たな世界レベルの開発拠点の形成にも力を入れております。また、「広島風お好み焼き」を代表とする広島食や日本酒文化を基盤とする食品産業も積極的に海外市場への新規参入を図っています。広島日本香港協会会員にも、各専門分野でシェア日本一を誇る企業が多数あり、個々の企業の強みを生かし、香港貿易発展局と連携することによって、香港を基点にし、中国・アジアへと拡大する大きな市場の波に乗るべく、広島日本香港協会の運営に万全を期していきたいと思っております。



古田代表の乾杯

香港・中国ビジネス・フォーラム(環境、デザイン・プロダクツ編)開催



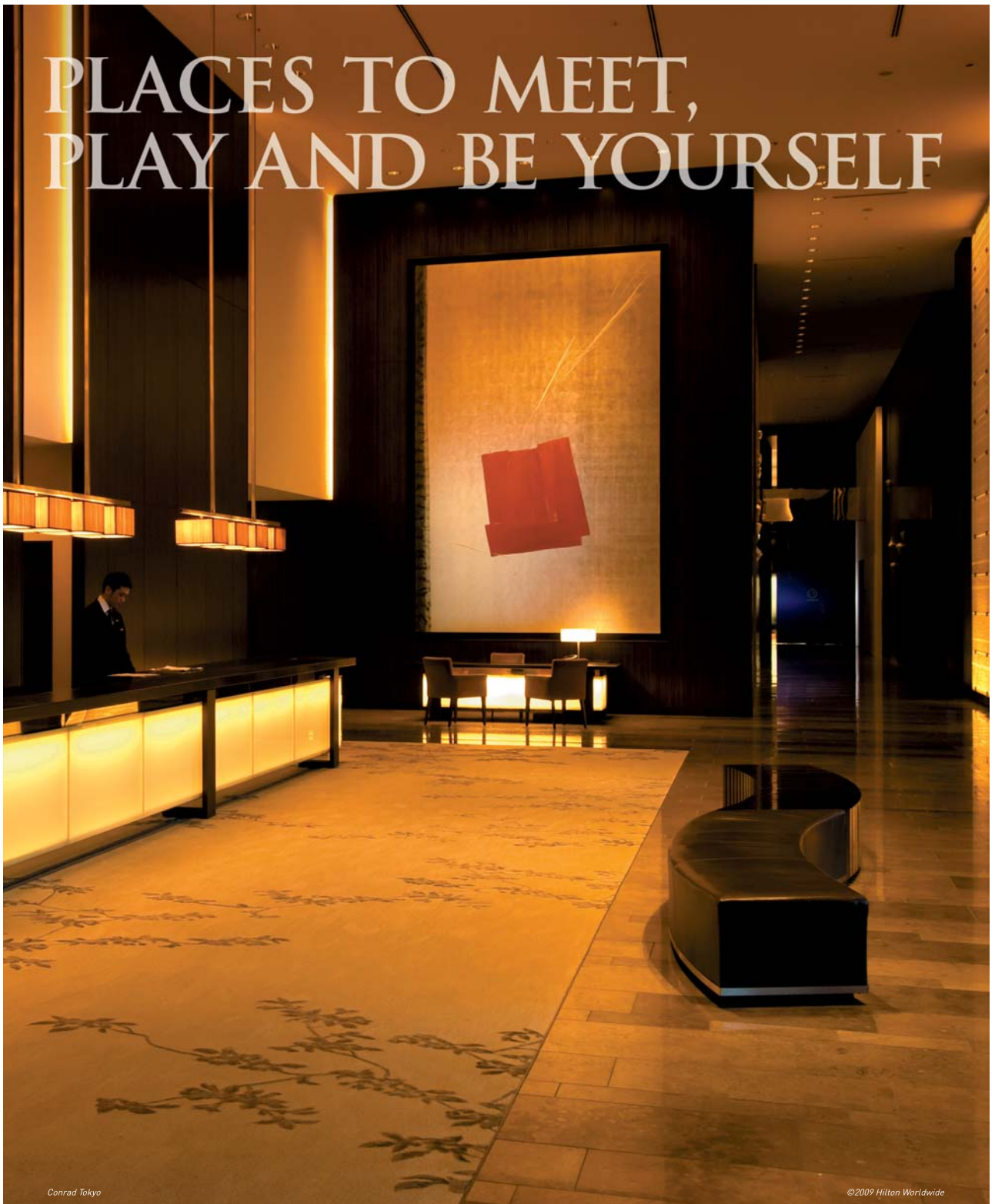
毛利尚方社長の講演

10月5日、協会が設立されて初の主催行事として「香港・中国ビジネス・フォーラム(環境、デザイン・プロダクツ編)」を、香港貿易発展局、(公財)ひろしま産業振興機構と共催しました。これは、11月、12月にそれぞれ香港で行われるエコ・エキスポ、IDTエキスポに先立ち、香港の最新情報を提供するものでした。古田代表による香港・中国の市場における最新情報に加え、現在中国・香港でビジネスを展開している川崎

市の大幸機器株式会社社長の毛利尚方氏、財団法人日本産業デザイン振興会部長の矢島進二氏に講演いただきました。

昨年のIDTエキスポの川崎市パビリオンに出展したことがきっかけで新たなビジネスをスタートさせた毛利社長は、成功するポイントの1つとして、相手を理解し、対人関係を大切にすることの必要性を強調されました。また、矢島部長は「Cool Japan」のコンセプトのもと、日本の文化産業の香港を通じた海外市場開拓の可能性について講演されました。協会会員のみならず、主に香港市場の開拓を考えている企業など約80名の参加者からは、香港の重要性を新たに認識したという声が聞かれました。

PLACES TO MEET, PLAY AND BE YOURSELF



Conrad Tokyo

©2009 Hilton Worldwide

銀座から徒歩圏内に位置し、浜離宮恩賜庭園や東京湾の絶景を一望する「コンラッド東京」。
和のモダンデザインを基調にした館内には、290の客室と最新機器を備えた宴会施設、「水月スパ&フィットネス」、
「ゴードン・ラムゼイ at コンラッド東京」「チャイナブルー」など4つのレストランとバー&ラウンジが揃い
ワールドクラスのおもてなしで皆様をお迎えいたします。

THE LUXURY OF BEING YOURSELF

ご予約・お問い合わせ 03 6388 8000 または ConradTokyo.co.jp
〒105-7337 東京都港区東新橋1-9-1 電話:03 6388 8000 ファックス:03 6388 8001 Eメール:TokyoInfo@ConradHotels.com

CONRAD®
TOKYO